



未来円満

保証金額付特別勘定年金特約(定期Ⅱ型)付変額個人年金保険(06)

2007年度 特別勘定の現況 (世界分散型30AL(503))

決算のお知らせ

ご契約者の皆様へ

日ごろは格別のお引き立てを頂き、誠に有り難く御礼申し上げます。
さて、弊社は去る3月31日に決算を迎えましたので、ここに特別勘定の運用
状況をご報告申し上げます。
今後とも何卒ご愛顧の程よりしくお願い申し上げます。

ホームページアドレス <http://www.axa.co.jp/life/>

お問い合わせ先 **0120-375-193**

*受付時間:平日9:00~17:00(土・日・祝日および12月31日から1月3日は休業とさせていただきます。)

STATE STREET
GLOBAL ADVISORS | SSGA

【利用する投資信託の委託会社】 ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社は、世界有数の金融機関である米国ステート・ストリート銀行グループに属します。
1998年10月1日に業務を開始、投資信託・投資顧問業務を幅広く展開しています。また、母体であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ
(SSgA)は、世界有数の資産運用額を誇る米国ステート・ストリート銀行の資産運用部門です。ステート・ストリート銀行は、1792年に米国ボストンに設立
された歴史と伝統ある金融機関です。

2008年7月1日付で、「ステート・ストリート投信投資顧問株式会社」は、「ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社」へ商号変更いたしました。

- ・アクサ生命保険株式会社の「保証金額付特別勘定年金特約(定期Ⅱ型)付変額個人年金保険(06)」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・当資料は、アクサ生命保険株式会社の「保証金額付特別勘定年金特約(定期Ⅱ型)付変額個人年金保険(06)」の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。
- ・当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・商品内容の詳細については「契約締結前交付書面(契約概要/注意喚起情報)」、「商品パンフレット」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・当資料に記載されている各表にある金額、比率、ファンドの資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等をしているので、合計等と合致しないことがあります。

保証金額付特別勘定年金特約（定期型）付変額個人年金保険（06） 特別勘定の現況（2007年度）

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社が作成した運用環境を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

運用環境 [2007年9月～2008年3月]

【日本株式市場】

日本株式市場は、期初は、米金融当局による利下げや9月の日銀短観などを好感して一時上昇する場面があったものの、10月中旬以降は欧米金融機関によるサブプライム・ローンに絡む損失の発表を嫌気して下落基調を辿りました。さらに一段の円高進行と米国の景気後退懸念の高まりも相場の下げを加速する方向に作用しました。

【外国株式市場】

外国株式市場は、期初は、米FF金利の引き下げを好感して上昇しましたが、欧米の金融機関によるサブプライム・ローン関連の損失発表をきっかけに下落に転じ、さらに米景気の減速懸念の高まりも相まって大幅な調整を余儀なくされました。

【日本債券市場】

日本債券市場は、大幅な上昇となった2007年10-12月期の国内総生産（GDP）など国内景気の底堅さが散見されたものの、高値を更新する原油価格などの各種商品市況の高騰による物価上昇が国内消費を抑制するとの懸念から景気の先行き不透明感が高まり、債券が選好されました。さらに期後半にかけて、米景気減速の波及懸念や物価上昇による内需鈍化懸念、日銀総裁不在を受けた金融政策の不透明感の高まりなどを受けて債券利回りが低下する堅調な展開となりました。

【外国債券市場】

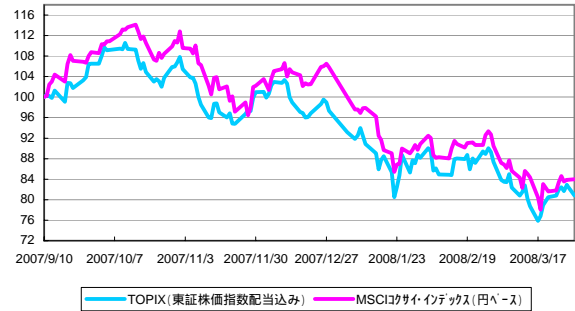
米国市場は、米連邦準備制度理事会（FRB）による緊急利下げを含めた大幅な金融緩和策の実施が債券利回りの低下圧力につながり、期末にかけて堅調な展開が続きました。
欧州市場は、商品市況の上昇を背景に複数の欧州中央銀行（ECB）高官からインフレ懸念が表明されたものの、軟化傾向を示す域内経済指標や米景気鈍化の波及懸念から域内経済の先行き不透明感が高まり、ECBが利上げを休止し、政策金利の据え置きを継続したことから、もみ合いながら債券利回りが低下する展開となりました。

【外国為替市場】

米ドル・円は、米サブプライム・ローン問題の深刻化を受けてリスク回避姿勢が強まる中、円キャリートレードを手仕舞う流れを受けて円が買い戻され、一時はおよそ12年半ぶりとなる95円台まで円高・米ドル安が進行しました。
ユーロ・円は、急激な円高が進行する局面があったものの、FRBが利下げスタンスを継続する一方でECBが政策金利の据え置きを継続したことから米欧金利差の逆転と拡大を背景に対米ドルでユーロが最高値を更新して上昇し、期後半にかけては対米ドルでの円高とユーロ高が相殺するかたちでもみ合い展開となりました。

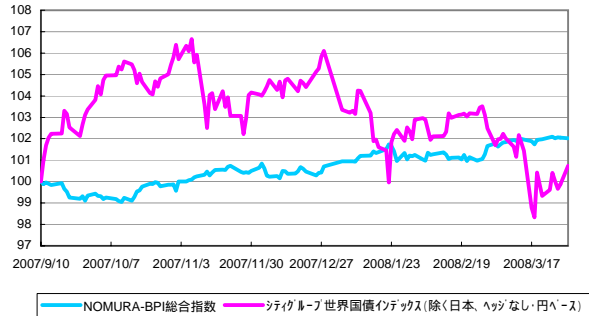
日本と外国の株式市場の推移

*下記グラフは2007年9月10日を100として指数化しています。



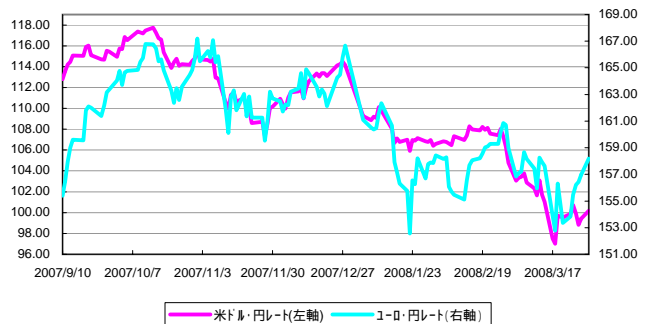
日本と外国の債券市場の推移

*下記グラフは2007年9月10日を100として指数化しています。



出所：ジェネリック日本利付国債残存10年単利（ブルームバーグ）
出所：ジェネリック米国国債10年およびドイツ国債10年の利回り（ブルームバーグ）

外国為替市場の推移



出所：株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1 17 3

TEL:0120 375 193

アクサ生命株式会社 <http://www.axa.co.jp/life/>

保証金額付特別勘定年金特約（定期型）付変額個人年金保険（06） 特別勘定の現況（2007年度）

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の運用方針および運用状況 [2008年3月末日現在]

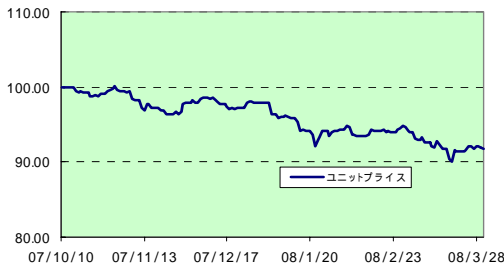
特別勘定名	特別勘定の運用方針
世界分散型30AL(503)	当特別勘定は、主として国内外の株式および債券を主要投資対象とする投資信託を運用対象としており、次年度も今年度と同様の運用方針で運用します。
利用する投資信託	利用する投資信託の運用方針
ステート・ストリート 4資産バランス30VA <適格機関投資家限定>	当ファンドは、 ステート・ストリート日本株式インデックス・マザーファンド受益証券15%、 ステート・ストリート日本債券インデックス・マザーファンド受益証券35%、 ステート・ストリート外国株式インデックス・オープン・マザーファンド受益証券15%、 ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券35%* を基本配分比率とし、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。 *当ファンドは、ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券の組入れに伴う 実質的な組入れ外貨建資産の35%のうち20%部分について、原則として為替ヘッジを行います。 各受益証券の時価変動などに伴う基本配分比率の変化に関しては、資産ごとに一定の 変動幅を設け調整を行います。 当ファンドの主なリスク ・価格変動リスク ・信用リスク ・カントリーリスク ・為替リスク

特別勘定の運用コメント（2007年10月9日 - 2008年3月末日）

2007年度のユニット騰落率は8.19%となりました。株式資産については、米国のサブプライム向け住宅ローンに端を発する信用収縮懸念と欧米金融機関によるサブプライム関連の損失計上が主因となり、大幅な調整を余儀なくされて、期末を迎えました。日本・外国株式への資産配分比率が合わせて30%を占めることから、株式市場の推移がユニットプライスに影響を与えました。

特別勘定のユニットプライスの推移

特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



特別勘定のユニットプライス		騰落率(%)	
2008年3月末	91.80	過去1ヶ月	2.40
2007年12月末	97.89	過去3ヶ月	6.22
-	-	過去6ヶ月	-
-	-	過去1年	-
-	-	過去3年	-
-	-	設定来	8.19

- ・世界分散型30AL(503)の特別勘定のユニットプライスは、特別勘定の設定日(2007年10月9日)を100.00として計算しております。
- ・騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する今月末のユニットプライスの変動率を表しています。

特別勘定資産の内訳

項目	世界分散型30AL(503)	
	金額(千円)	比率(%)
その他有価証券	3,913,035	91.3
現預金・コールローン	188,304	4.4
その他	184,259	4.3
合計	4,285,599	100.0

- ・特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。
- ・金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しております。

特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	19
有価証券売却益	-
有価証券評価益	-
有価証券償還益	-
為替差益	-
その他収益	-
有価証券売却損	-
有価証券評価損	102,169
有価証券償還損	-
為替差損	-
その他費用及び損失	-
収支差計	102,149

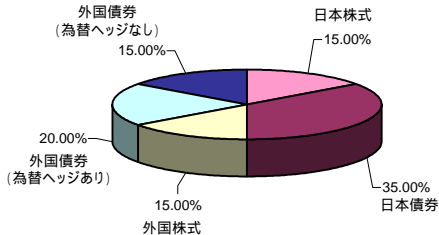
保証金額付特別勘定年金特約（定期型）付変額個人年金保険（06） 特別勘定の現況（2007年度）

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

<参考> ステート・ストリート4資産バランス30VA <適格機関投資家限定> の運用状況 [2008年3月末日現在]

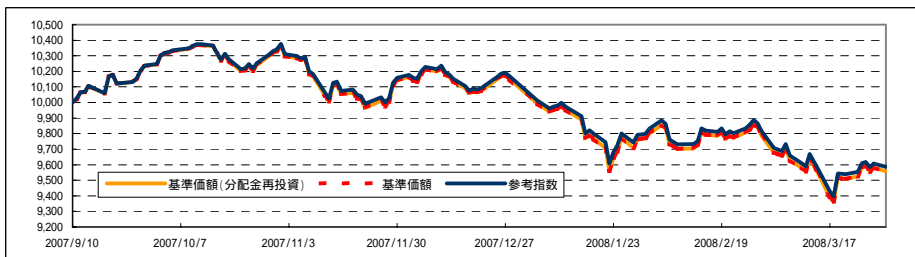
ファンドの特色

【基本配分比率】



基準価額の推移

ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニットプライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



- ・グラフは、ステート・ストリート4資産バランス30VA <適格機関投資家限定> の設定日(2007年9月10日)を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率0.2625%程度(税抜0.25%程度))控除後の値です。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- ・参考指数は、TOPIX(東証株価指数配当込み)15%、NOMURA - BP総合指数35%、MSCIコクサイ・インデックス(円ベース)15%、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)15%、およびシティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)20%で組み合わせた合成指数です。

概況

	2008年3月31日	前月末	前月末比
基準価額	9,558 円	9,785 円	227 円
純資産総額(百万円)	3,913	2,248	1,666

	基準価額	日付
設定来高値	10,371 円	2007年10月11日
設定来安値	9,362 円	2008年3月18日

資産構成

	基本配分比率	ファンドの資産構成
日本株式	15.00%	14.76%
日本債券	35.00%	34.87%
外国株式	15.00%	14.98%
外国債券(為替ヘッジあり)	20.00%	20.80%
外国債券(為替ヘッジなし)	15.00%	14.40%
短期金融資産	0.00%	0.19%
合計	100.00%	100.00%

- ・ファンドの資産構成は、純資産総額に対する比率となります。
- ・計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより「短期金融資産」の値がマイナスで表示されることがあります。
- ・REITの組み入れがある場合は、REITは株式に含めて表示しています。

騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	2.32%	5.86%	6.61%	-	-	4.42%
参考指数	2.32%	5.74%	6.35%	-	-	4.13%
差	0.00%	0.12%	0.26%	-	-	0.29%

- ・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。
- また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りは異なります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

- ・下記比率は、純資産総額に対する国別及び通貨別の比率となります。

組入上位5カ国

国名	比率
日本	49.63%
アメリカ	16.90%
ドイツ	5.68%
フランス	4.95%
イタリア	4.87%

組入上位5通貨

通貨	比率
円	70.43%
米ドル	11.46%
ユーロ	11.11%
ポンド	2.89%
加ドル	1.05%

- ・上記比率は、為替ヘッジ後の比率となります。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1 17 3

TEL:0120 375 193

アクサ生命 <http://www.axa.co.jp/life/>

保証金額付特別勘定年金特約（定期型）付変額個人年金保険（06）のリスク及び諸費用について

【投資リスクについて】

この保険は積立金額および年金額等が特別勘定資産の運用実績に応じて変動（増減）するしくみの変額個人年金保険です。特別勘定資産の運用は、投資信託を利用して国内外の株式・公社債等で行なっており、株式および公社債の価格変動と為替変動等に伴う投資リスクがあります。特別勘定資産の運用実績が積立金額に直接反映されますので、運用実績によっては、ご契約を解約した場合の払い戻し金額等が一時払保険料等を下回る場合があります。

【諸費用について】

ご契約者等にご負担いただくこの保険の費用は、次のとおりです。

<積立期間中および保証金額付特別勘定年金(定期)支払期間中にかかる費用

項目	費用	ご負担いただく時期
契約初期費用	ご契約の締結等に必要な費用	一時払保険料に対して 5.0%
保険契約管理費	支払年金累計金額と死亡一時金額の合計金額の最低保証、死亡給付金額の最低保証、災害死亡給付金額のお支払い、ならびに、ご契約の維持等に必要な費用	特別勘定の積立金額に対して 年率2.3%
運用関係費	特別勘定の運用等に必要な費用	投資信託の純資産額に対して 年率0.2625%程度 (税抜0.25%程度)

- * 運用関係費は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、お客さまにご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等の諸費用がかかりますが、これらの費用は運用資産額や取引量等によって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。また、これらの費用は各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。
- * 運用関係費は、運用手法の変更・運用資産額の変動等の理由により、将来変更される可能性があります。

<年金の種類の変更またはすえ置期間付年金への移行により10年保証期間付終身年金または確定年金を選択した場合の年金支払期間中にかかる費用>

* 「年金払特約(06)」による年金の支払を行なう場合も同様です。

項目	費用	ご負担いただく時期
年金管理費	年金のお支払いや管理等に必要な費用	年金額に対して 1.0%

- * 年金管理費は、将来変更となる可能性があります。

この商品にかかわる費用の合計額は「契約初期費用」、「保険契約管理費」、「運用関係費」の合計額となります。年金の種類の変更またはすえ置期間付年金への移行等をご選択の場合、他に「年金管理費」がかかります。

【その他の留意事項について】

受取総額保証金額(定期型)

受取総額保証金額の最低保証は、据置期間(5年～17年)と特別勘定年金受取期間(3年～15年)の合計期間が20年である場合に限られます。積立期間中にご契約を解約される場合、もしくは年金受取期間中に積立金額を一括でお受け取りいただく場合には、お受け取りになる金額が一時払保険料を下回る場合があります。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1 17 3

TEL:0120 375 193

アクサ生命 ☎-44'-3' http://www.axa.co.jp/life/